

開講科目名 / Course	看護疾病病態論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期、3 学期 / Second,Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	石田 佳代子	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、内倉 佑介、三苫 美和、安部 涼子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	疾患からみた病態と症状からみた病態の両者を多元的・有機的に把握する能力を養うため、人体の構造や機能を理解しやすいように系統解剖学的構成に従って知識を整理しながら展開する。代表的な疾患やその症状を中心に教授し、病態生理、臨床像、治療が主な教育内容である。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳・神経系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。 2. 腎・泌尿器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。 3. 運動器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。 4. 女性生殖器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。 5. 感覚器系および皮膚の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 脳・神経疾患（1）意識障害、運動麻痺、感覚障害 02. 脳・神経疾患（2）脳出血、脳梗塞 03. 脳・神経疾患（3）パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、認知症 04. 腎・泌尿器疾患（1）腎不全、腎炎、前立腺肥大症 05. 腎・泌尿器疾患（2）腎腫瘍、膀胱腫瘍、前立腺がん 06. 運動器疾患（1）骨折、脊髄損傷 07. 運動器疾患（2）変形性関節症、椎間板ヘルニア 08. 女性生殖器疾患 子宮がん、卵巣がん、乳がん 09. 眼疾患、耳鼻咽喉疾患 10. 皮膚疾患 熱傷、褥瘡 	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、理解を深められるように課題を提示する。	
時間外学修	<p>事前学修：該当臓器などの解剖生理の復習、分からない用語などを調べる、ナーシングスキルの視聴など（8h）。</p> <p>事後学修：資料やノートの内容を復習する（11h）。</p>	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）。但し、授業時間の1/3以上欠席した場合は受験を認めない。	
テキスト		
参考書	<p>病気がみえる 各シリーズ〔脳・神経、腎・泌尿器、運動器・整形外科、皮膚科〕（メディックメディア）</p> <p>プチナースBooks 病態関連図が書ける観察・アセスメントガイド（照林社）</p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]（医学書院）</p>	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	<p>石田佳代子：病院の看護師経験</p> <p>三苫美和：病院の看護師経験</p> <p>内倉佑介：病院の看護師経験</p> <p>安部涼子：病院の看護師経験</p>

教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の経験を活かし、臨床現場と理論を結び付けながらエビデンスに基づき教授する。	